

TAC

For The USCPA Exam

USCPA

Financial Accounting & Reporting I
(FAR I)

Business Analysis and Reporting
(BAR)



For The CPA Evolution
Exams Scheduled
From January 1, 2024
Ver.6 テキスト

FAR 

<<テキストについてのご注意>>

このテキストは米国公認会計士試験を目指す日本人を対象として書かれたものです。米国公認会計士試験は、すべて英語による試験ですが日本人が内容を理解するにあたっては、日本語の方が効果的であることは言うまでもありません。そのためテキストは、米国の各種会計基準（U. S. GAAP 等）を日本の企業会計基準委員会等が公表している実務指針、監査基準等をもとに日本語で解釈しております。

日本語と英語は言語が異なる関係上、どうしても解釈に無理が発生してしまうこともございますが日本の企業会計審議会が米国の各種会計基準を参考にしつつ日本の基準を作成していることを考えますと、英語の解釈として企業会計審議会の解釈が一番妥当であると考えられます。また、日本の会計基準を逸脱する表現はかえって日本の会計を理解していらっしゃる方に誤解を与える可能性がございますし今後、米国公認会計士の資格を活かして日本において業務をされる方が多い事を考えますと、日本の会計基準、監査基準の用語にも慣れ親しんでいただく事も重要であると考えられます。

以上より英語で原文を解釈した場合、テキストの表現に違和感を覚えることもあるかもしれませんが、前述のとおり、本試験は英語で実施されますので最終的には、英語のままの状態を理解できるまで習熟を図ってください。

皆様がこのテキストを活用することによって合格を勝ち取られることを祈念しております。

U.S. CPA

Financial Accounting I

Textbook

Contents

1. Basic Concepts of Financial Accounting (財務会計の基礎)	1
CORE : FAR	
1. アメリカの株式会社の仕組み	2
2. 企業の資金調達と株主・債権者の権利	5
3. Introduction to Financial Accounting (イントロダクション)	6
4. Financial Statements (財務諸表)	10
2. Accounting Process (簿記一巡の手続) CORE : FAR	21
1. Accounting Process (簿記一巡の手続) ①～勘定記入～	22
2. Accounting Process (簿記一巡の手続) ②～仕訳～	31
3. Accounting Process (簿記一巡の手続) ③～試算表～	38
4. Accounting Process (簿記一巡の手続) ④～財務諸表～	41
3. Adjustments (決算整理) CORE : FAR	65
1. Adjustments (決算整理)	66
2. Adjustments 後の Accounting Process	103
3. Financial Statements (財務諸表)	117
4. Worksheet (精算表)	125
4. Inventories (棚卸資産) CORE : FAR	135
1. Inventory の範囲	136
2. Inventory の処理プロセス	138

3. Original Cost (取得原価) の決定	142
4. Original Cost の修正	143
5. Perpetual Inventory System and Periodic Inventory System (継続記録法と棚卸計算法)	150
6. 払出単価の計算方法	154
7. Lower of Cost or Market and Lower of Cost and Net Realizable value (低価法)	176
8. Estimating Inventory Cost (棚卸資産原価の推定)	184
9. Title の移転時期	190
10. Account の構成～Cash payments to suppliers～	194
5. Property, Plant, and Equipment (有形固定資産) CORE : FAR	201
1. Characteristics of Property, Plant, and Equipment (有形固定資産の特徴)	202
2. Original Cost (取得原価) の決定	203
3. Depreciation (減価償却)	216
4. Capital Expenditures and Revenue Expenditures (資本的支出と収益的支出)	234
5. Disposal of PP&E (固定資産の処分)	238
6. Related Topics (関連論点)	247
7. Account の構成	250
6. Monetary Assets (貨幣性資産) (1) CORE : FAR	255
1. Recognition of Accounts Receivable (売掛金の認識)	256
2. 決算時の会計処理と Accounts Receivable の評価	257
3. Sales の修正	268
4. Transfer of Receivables (債権の譲渡)	273
5. Account の構成～Cash receipts from customers～	278

7. Monetary Assets (貨幣性資産) (2)	CORE : FAR	281
1. Cash (現金預金)		282
2. Notes (手形)		298
8. Liabilities (負債)	CORE : FAR	305
1. Classification of Liabilities (負債の分類)		306
2. Contingencies (偶発事象)		310
9. Stockholders' Equity (株主持分)	CORE : FAR	319
1. Components of Stockholders' Equity (資本の構成要素)		320
2. 株式に関する基礎知識と Paid-in Capital (払込資本)		322
3. Retained Earnings (利益剰余金)		328
4. Dividends (配当)		332
5. Stock Splits (株式分割)		350
10. Ratio Analysis (比率分析)	CORE : FAR	357
1. Basic Financial Analysis Ratios		358
単位認定試験について		378
主要参考文献		379

索引 (INDEX)

1. Basic Concepts of Financial Accounting (財務会計の基礎)

Objectives

本章では、まずアメリカの株式会社の仕組みと、企業の資金調達を概観します。この中で、株主はいったいどのような存在なのか、債権者とどのように異なるのかをマスターしてください。

その上で、次章以降で取り扱う具体的な会計の内容に入る前に、財務諸表とはどのようなものなのかをおおまかに把握していくことが目標です。

Key Topics

CORE FAR

1. アメリカの株式会社の仕組み
2. 企業の資金調達と株主・債権者の権利
3. Introduction to Financial Accounting (イントロダクション)
4. Financial Statements (財務諸表)

1. アメリカの株式会社の仕組み

会計の内容に入る前に、アメリカの株式会社の仕組みについて確認していく。

(1) 株式会社の特徴

友人何人かと小さなお店を作る場合であれば、自分たちで開業資金を出資し、自分たちで経営を行えばよいが、規模が大きくなってくるとそういうわけにもいかない。たとえば、高校生の世界史の授業で登場したと思うが、株式会社の起源といわれる東インド会社のように、大量の貿易を行う会社であれば、とても個人数名の資金では、営業に必要な資金を集めることができないであろう。

そこで、株式会社においては、幅広く多数の出資者を募集するために出資の単位が細分化されている。この細分化された単位を **stock (株式)** といい、それを表象する証券を株券という。たとえば、会社を作るにあたって1人から1,000万円の出資をしてもらいよりも、それを10万円ごとに分割して100口分集める方が、資金を集めやすいということである。なお、**stock** を保有する者、つまり出資をした者のことを、**stockholder** または **shareholders (株主)** と呼ぶ。

また、株式会社では、より資金を集めやすくなるように、**stockholders** の責任が限定されている。株式会社の英訳として“**Co. Ltd.**”と書かれていることがあるが、この **Ltd** は **limited** のことであり、**stockholders** は **limited liability (有限責任)** しか負わない。具体的には、**limited liability** とは、原則として、**stockholders** は会社に対する投資額（出資額）しか責任を負わないということである。

たとえば、会社が1,000億円の借金を抱えて倒産したとする。一方で、会社の財産は100億円しかなかったとしても、**stockholders** は足りない900億円について責任を負う必要はない。つまり、会社の代わりに**stockholders** が不足分を負担する必要はないということであり、**stockholders** は自分が出資した分が返ってこなくなる（ゼロになる）だけである。

このように、株式会社は、出資単位が細分化されており、出資者である**stockholders** が **limited liability** しか負わないという点に特徴がある。なお、もう一つの株式会社の特徴である所有と経営の分離については、次ページで解説していく。

(2) 所有と経営の分離

大規模な株式会社で、**stockholders**が多くなると、もはや出資者が自ら会社を経営するというわけにはいかない。**Stockholders**が100人いたとして、全員が経営者になることは無理である。また、**stockholders**の中には、株価の値上がりだけに興味があるのであって、経営には興味がない者もいるであろう。

このため、現代の多くの株式会社においては、**stockholders**（株式会社の所有者）と**management**（経営者）が別々の者になっていることが通常となっている。これを、所有と経営の分離という。具体的には、**stockholders**とは別に、会社の経営（業務執行に関する意思決定）を行う権限は**board of directors**（取締役会）がもつことになる。

このように、**stockholders**は直接的に経営に参画するわけではないが、経営にまったく参画しないわけではない。**Management**の経営方針が気に入らなければ、**stock**を売却してしまうという手もあるが、**stockholders**は、**stockholders' meeting**（株主総会）で**voting rights**（議決権）を行使することで間接的に経営に参画することができるのである。

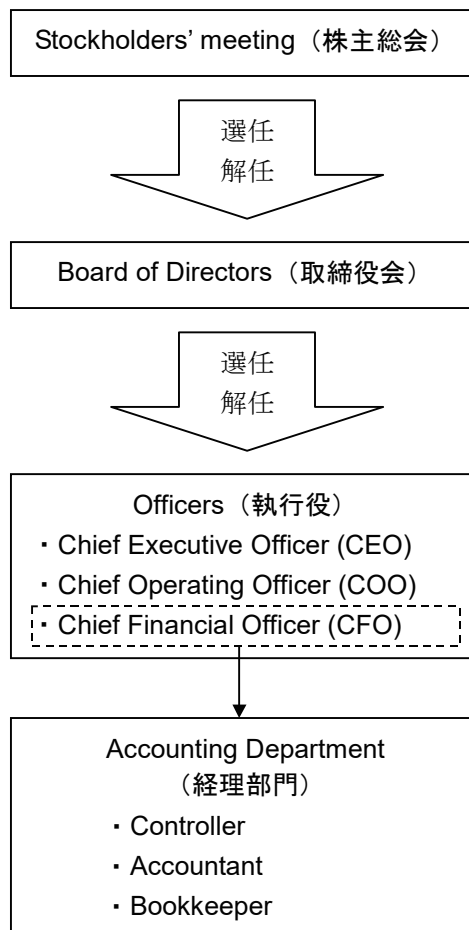
なぜなら、経営を行う権限を持つ**board of directors**のメンバーを**director**（取締役）というが、**directors**は、**stockholders' meeting**において**stockholders**の投票（**voting rights**の行使）によって選出されるからである。つまり、**director**の選出を通じて、**stockholders**は経営に間接的に参画することになる。

なお、**voting rights**は、**stock**（厳密には**common stock**—後述）1株につき1個が与えられる。

(3) Directors と officers (取締役と執行役)

上記のように、stockholders' meeting で選任された directors で構成される board of directors が、株式会社の業務執行に関する意思決定（業務決定）を行う権限をもっている。

ただし、日常的な業務執行に関しては、board of directors において選任された officers（執行役）に委任されるのが通常である。よって、board of directors は、重要な意思決定を行うほか、officers による業務執行を監督することになる。なお、CEO という言葉を耳にすることがあるかもしれないが、CEO とは chief executive officer（最高経営責任者）の略称であり、officer のトップのことである。



2. 企業の資金調達と株主・債権者の権利

Management（経営者）は、企業価値を最大化するように企業経営にあたることが求められる。具体的には、できるだけ効率的・効果的に資金を集め、その資金を運用することが求められることになる。

ここで、資金を集めることを **financing（資金調達）** といい、資金の運用を **investment（投資）** という。

株式会社にとって、**finance** の方法としては、

- **Stock（株式）** の発行
- **Bonds（社債）** の発行
- **Term loans（期限付借入）**・・・銀行借入など

が代表的である。

まず、株式発行は、（上場企業であれば）証券市場において **securities（証券）** を発行して市場から大量に資金を集める方法である。**Stockholders** から出資を受け、それを元手として投資を行っていくことになる。

次に、株式の発行と同じく、**securities** を発行して市場から大量に資金を集める方法の一つに、**bonds** の発行がある。株式と異なっているのは、出資をしてもらうのではなく、資金を貸してもらうという点である。つまり、銀行などの特定の会社からではなく、市場から借入を行う方法である。なお、資金の提供者である **bonds** の所有者のことは、**bondholders（社債権者）** と呼ぶ。

Term loans とは、通常の借入のことである。主な **lender（貸手）** としては、**commercial banks（商業銀行）**、**life insurance companies（生命保険会社）** などがある。

Bonds holders や **lender** は、**interest（利息）** を受け取ることができる。**Stockholders** は、**interest** の代わりに **dividends（配当）** を受け取ることができる。ただし、**dividends** は **board of directors** が決定するので、**board of directors** において **dividends** を行うことが決定されると、**stockholders** はそれを受け取る権利を有することになる。

（注）**Interest** という言葉には、持分という意味と利息という意味がある。両者の意味はまったく異なるので、文章（問題文）の内容からどちらの意味なのかを判断する必要がある。

3. Introduction to Financial Accounting (イントロダクション)

(1) Stakeholders (利害関係者)

前節においては **finance** についてのみ考えてきたが、企業と経済的な関係があるのは **creditors** と **stockholders** だけではない。

たとえば、**employee** (従業員) や **vendor** (納入業者)、**IRS** (内国歳入庁) なども企業と経済的な関係がある。また、現在において **stockholders** や **bondholders** である者だけでなく、証券市場で利益を得ようと思っている者全体のことを **investors** (投資家) というが、**investors** も経済的な関係があるといえる。

このように、企業と経済的な関係がある者のことを、まとめて **stakeholders** (利害関係者) という。

(2) Financial accounting (財務会計) の役割

企業活動においては、さまざまな取引が行われるが、これらの取引に関する情報は、企業の **stakeholders** にとっては興味深いものであるはずである。たとえば、企業に出資をしている人は、自分が出資した資金がうまく使われているかどうかに関心があるであろう。そこで、企業は、行った取引の結果などを **stakeholders** に開示する必要に迫られることになる。しかし、膨大な量の取引を、一つずつ開示することはできない。

そこで、企業が一定期間に行った取引は、企業自身が記録、分類、集計していき、そしてその結果まとめられた一覧表を開示することで、**stakeholders** に報告することになっている。この一覧表のことを、**financial statements** (財務諸表) という。つまり、**financial statements** を開示することで、**stakeholders** に対して膨大な量の取引の結果を集約して報告するのである。

このように、取引を記録、分類、集計し、**financial statements** を通じて **stakeholders** に報告することが、**financial accounting** (財務会計) の役割である。

(3) Basic assumptions (財務会計の前提)

Financial accounting は、いくつかの大きな前提のもとで行われる。

① Economic entity (企業実体)

これは、企業そのものを出資者たる **stockholders** とは別個独立の存在と仮定し、会計上の判断や計算は、すべて企業自体の立場から行うべきものとする考え方である（この点を強調して **economic entity assumption** ではなく **separate entity assumption** と呼ぶこともある）。したがって、この考え方は、企業に投下された財産と資本についてだけ記録と計算が行われるという、会計の行われる範囲を限定したものであるということが出来る。

通常は、会計上の範囲には法人格が用いられ、一つの企業について一つの **financial statements** が作成されることになる。

ただし、厳密には会計上の範囲はこれに限定されるものではなく、たとえば、資本関係等を有する複数の企業を一つの単位として **financial statements** を作成することも可能であり、このようにして作成されるのが **consolidated financial statements** (連結財務諸表) である。**Consolidated financial statements** については、FARⅢで取り扱うことになる。

② Monetary unit (貨幣的単位)

これは、企業の財産および資本とすべての会計事実を、貨幣の額で統一的に記録・計算・表示するというものである。これは、現代が貨幣経済の時代であり、経済価値を有するすべての財貨が貨幣の尺度によって表現されているため、貨幣以外の財貨でも貨幣の額を用いることが自然かつ便利だからである。

③ Going concern and periodicity (継続企業と期間計算)

Going concern (継続企業) とは、企業が永久に継続して事業を営むものとする前提である。Going concern を前提とすると、会計は解散や清算を予定せず、常に企業は継続的に営業活動を営むものと仮定されることになる。

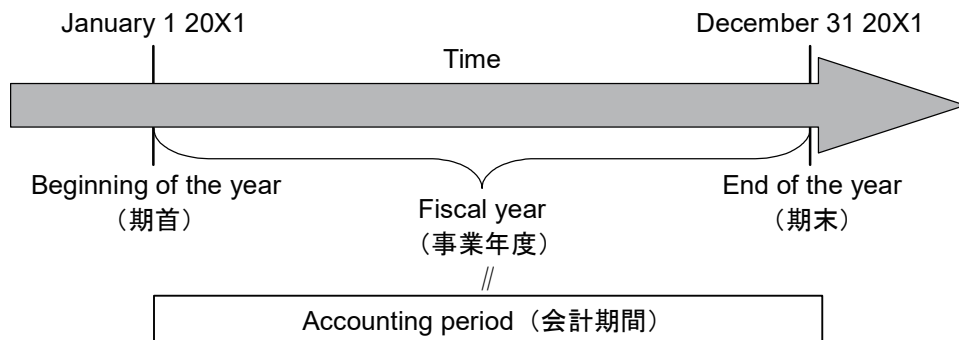
しかし、このように企業が消滅しないと仮定するからといって、会計報告を行わないというわけにはいかない。そこで、現在では、企業の全存続期間を人為的に定めた一定の期間に区切って、会計報告を行うこととされている。つまり、企業は継続して活動を行うため、一定期間ごとに報告書を作成し、一定期間における業績や、一定期間末における財産などの状況を明らかにするのである。

ここではいくつかの用語を覚えてほしい。

まず、financial statements を作成する期間のことを、accounting period (会計期間) という。通常、これは1年であり、fiscal year (事業年度) と表現されることもある。そして、accounting period の始まりを beginning of the year (期首) といい、終わりを year-end / end of the year (期末) という。

また、現に記録・計算の行われている accounting period を当期、次の accounting period を次期という。

なお、accounting period は通常1年間であるが、半年や四半期(3ヶ月)など暦年以外となる場合もある。四半期ごとの報告については、FAR III で取り扱う。



(4) Generally Accepted Accounting Principles (GAAP : 一般に認められた会計原則)

企業が開示する **financial statements** の社会的な重要性はきわめて大きい。そして、**financial statements** のもつ社会的重要性が高ければ高いほど、その作成には注意が払われなければならない。真実ではない内容の (**misstatements** (虚偽の表示) を含んだ) **financial statements** が開示された場合、各種の **stakeholders** は大きな損害を被ったり、適切な意思決定が行えない可能性があるからである。

ここで、**financial statements** の作成を全面的に **management** にまかせてしまった場合、**management** が自らの利益のために **financial statements** の諸数値を操作してしまう可能性もある。たとえば、企業活動に必要な資金を多く集めようとする **management** は、利益を実態より過大に計上しようとするかもしれない。

そこで、**(3)** に述べた前提だけでなく、具体的に **financial statements** を作成するためのよりどころとなるルールの設定が必要とされることになる。

このルールは、一般に公正妥当と認められてきたものを集約し、また規範的な視点から修正して成り立っており、**generally accepted accounting principles** (GAAP、一般に認められた会計原則) と呼ばれる。

なお、**accounting principles** のことは、**accounting standards** と呼ぶこともある。

4. Financial Statements (財務諸表)

前節で述べたとおり、企業は日々の取引を記録、分類、集計していき、最終的には一定期間ごとに **stakeholders** への報告書を作成することになる。この報告書のことを、**financial statements** と呼ぶ。

ここでは代表的な **financial statement** である、

- **Income statement (I/S、損益計算書)**
- **Balance sheet (B/S、貸借対照表)**

の概要をみていくことにする (詳しくは第3章で学習する)。

(1) Income statement (損益計算書)

Income statement は、簡単にいえば、一定期間における企業の儲けを示すものである。

具体的には、企業活動の成果である **revenues (収益)** から、成果を獲得するための犠牲である **expenses (費用)** を差し引いて、儲けである **net income (当期純利益)** を示す形式で作成される。なお、**revenue** よりも **expense** の方が大きい場合、**net income** がマイナスになるが、これを **net loss (当期純損失)** といいう。

このように、成果からそれを獲得するために犠牲になった分を控除して儲けを示すことで、**financial statements** の利用者は企業の **profitability (収益性)** を把握することができることになる。

なお、**income statement** は企業の儲けを示すものであると述べたが、これを会計用語では企業の **operating results (経営成績)** を示す、という。

Income statement

Expenses (努力)	Revenues (成果)
Net income (もうけ)	

(2) Balance sheet (貸借対照表)

Income statement が「一定期間」の儲けを示すものであるのに対し、**balance sheet** は「一時点」の企業の状態を示すものである。

具体的には、手元の現金や保有する土地などのプラスの財産である **assets (資産)** から、借入金などのマイナスの財産である **liabilities (負債)** を差し引いて、正味の財産である **net assets (純資産)** を示すものである。たとえば、土地などが 1,000 万円あり、借入金が 600 万円あるとすれば、1,000 万円から 600 万円を差し引いて 400 万円の **net assets** があることになる。

なお、**liabilities** が **creditors** のものであるのに対し、**net assets** は **stockholders** のものであるので、**net assets** のことは **stockholders' equity (資本)** と呼ぶ。

Balance sheet

Assets (プラスの財産)	Liabilities (マイナスの財産)
	Stockholders' equity (正味の財産)

ここで、見方を変えると、図の右側は「どのように資金を調達しているのか (たとえば銀行から借りているとか、**stockholders** から出資してもらっているということ)」を示しており、図の左側は「調達した資金を何に使っているのか (たとえば土地を買うのに使ったということ)」を示している。これを、会計用語では、**source of funds (資金の調達源泉)** と **application of funds (運用形態)** といい、**balance sheet** は **year-end** における **financial position (財政状態：資金の調達源泉と運用形態)** を示すものということができる。

そのため、**balance sheet** のことを、**statement of financial position (財政状態計算書)** という場合もある。

Point!

会社の資産の調達源泉は

- ① **Stockholders** からの出資 (株主から「出資してもらう」)
- ② **Creditors** からの **Loan** (債権者から「借りる」)
- ③ **Clients** からの **Profit** (お客様から「稼ぐ」(ただし、必要経費は除く)) の3つである。

Income Statement and Balance Sheet

(損益計算書と貸借対照表)

Income statement や balance sheet という言葉を初めて耳にする方は、次の簡単な設例を使って大雑把なイメージをつかみましょう。

Example

ある日の朝、太郎君は財布の中に 8,000 円のお金を持っていました。しかし、このとき、太郎君は A 君から 3,000 円を借りていました。

その日の昼、太郎君は、A 君や B 君とポーカー・ゲームで賭けをして遊びました。太郎君はロイヤル・ストレート・フラッシュであがり、A 君、B 君から、それぞれ 1,000 円、2,000 円をもらえることになりました。ただ、A 君からは直接お金をもらうのではなく、太郎君の A 君からの借りを 2,000 円に減額することになりました。また、B 君は貧乏なので、とりあえず 1,000 円だけお金をもらい、残りの 1,000 円は太郎君の B 君への貸しとしました。そして、気をよくした太郎君はタクシー代 500 円を使って家に帰りました。その日の夜、太郎君は、財布の中に 8,500 円があることを確認してから眠りにつきました。

ある日の朝	財布の中のお金	8,000 円
	A 君からの借り	3,000 円
その日の昼	ポーカーの勝ち	3,000 円
	タクシー代	500 円
その日の夜	財布の中のお金	8,500 円
	B 君への貸し	1,000 円
	A 君からの借り	2,000 円

さて、太郎君はこの日いくら儲けたでしょうか？ 財布の中身が 8,000 円から 8,500 円になったから 500 円の儲けでしょうか？ 違いますよね。朝の時点においては太郎君の正味財産は 5,000 円だったのです。そして、ポーカー・ゲームで 3,000 円勝ち、タクシー代を 500 円支払ったため、差引 2,500 円だけもうけたことになります。その結果、夜の時点においては太郎君の正味財産は 7,500 円となったのです。

1. Basic Concepts of Financial Accounting

ある日の朝	財布の中のお金	8,000 円
	A君からの借り	<u>-3,000 円</u>
	正味財産	<u>5,000 円</u>
その日の昼	ポーカーの勝ち	3,000 円
	タクシー代	<u>- 500 円</u>
	本日のもうけ	<u>2,500 円</u>
その日の夜	財布の中のお金	8,500 円
	B君への貸し	+1,000 円
	A君からの借り	<u>-2,000 円</u>
	正味財産	<u>7,500 円</u>

朝の時点における正味財産 5,000 円に本日の儲け 2,500 円が加わり、夜の時点における正味財産が 7,500 円になったということが把握できたでしょうか。

これらの計算過程を表にすると次のとおりです。

本日の儲けの計算

タクシー代	500	}	ポーカーの勝ち 3,000
儲け	2,500		

夜の時点における財産

お 金	8,500	A君からの借り	2,000
B君への貸し	1,000	正味財産	7,500
		(朝からあった分 5,000)	
		(本日の儲け分 2,500)	

この表を少し変えてみましょう。実は、これが **income statement** と **balance sheet** なのです。

損益計算書

費 用	500	}	収 益	3,000
利 益	2,500			

貸借対照表

資 産	9,500	負 債	2,000
		資 本	7,500
		(元本 5,000)	
		(利益 2,500)	

(1) および (2) でおおざっぱに **financial statements** について述べてきたが、以下で **financial statements** に記載される **assets**、**liabilities**、**stockholders' equity**、**revenues** および **expenses** の内容を述べていくことにする。

なお、それぞれに属する具体的な項目の例をいくつか挙げていくが、それらは次章以降で少しずつ設例を通じて内容を確認していくので、ここでは項目の名称だけおさえれば大丈夫である。

(3) **Income statement** に記載される項目

① Revenues (収益)

Revenues (収益) とは、財やサービスの提供等による資産の流入や増価、あるいは負債の決済のことをいう。**Revenues** は **stockholders' equity** を増加させることになる。

- (例) **Sales** (売上)
Rent revenue (受取賃貸料)
Interest income (受取利息)

② Expenses (費用)

Expenses (費用) とは、財やサービスの提供等に伴う資産の流出や使用、または負債の発生のことをいう。**Expenses** は **stockholders' equity** を減少させることになる。

- (例) **Cost of goods sold** (売上原価：販売した商品・製品の原価)
Rent expense (支払賃借料)
Salaries expense (**wages expense**、給料、賃金)
Interest expense (支払利息)

なお、**revenues** から **expenses** を差し引いて **net income** が生じれば、それは企業の正味の財産が増加したといえる。よって、一定期間に **net income** が生じれば、それだけ **stockholders' equity** が増加することになる (詳しくは第 2 章参照)。

(4) Balance sheet に記載される項目

① Assets (資産)

Assets (資産) とは、経済的便益に対する企業の現在の権利のことである。この権利は、財務諸表の日付において存在していなければならない。経営に役立つ財貨 (モノ) および金銭債権など、プラスの財産とイメージしておけばよい。

(例) **Cash (現金預金)**

Inventory (棚卸資産: 商品など)

Buildings (建物)

Land (土地)

Accounts receivable (売掛金、未収金: 商品やサービスを提供したものの、cash をいまだ受け取っていないために生じる金銭債権)

Loan receivable (貸付金)

② Liabilities (負債)

Liabilities (負債) とは、他者に経済的便益を移転または提供する、企業に現存している義務のことである。マイナスの財産とイメージしておけばよい。なお、義務が履行されるまで、**creditors** は企業の **assets** に対して債権を有することになる。このため、**liabilities** のことを、**creditors' equity (債権者持分)** と呼ぶことがある。

(例) **Accounts payable (買掛金、未払金: 商品やサービスの提供を受けたものの、cash をいまだ支払っていないために生じる金銭債務)**

Loan payable (借入金)

③ Stockholders' equity (net assets、資本)

Stockholders' equity (Net assets、持分) とは、**liabilities** を控除した後に残る **assets** に対する残余持分をいう。

(5) その他の financial Statements (財務諸表)**① Cash Flow Statement (C/F)**

Cash Flow Statement は、B/S の Cash and cash equivalents (現金および現金同等物) の増減を、Operating Activities (営業活動)、Investing Activities (投資活動)、Financing Activities (財務活動) に分けて表示する。Cash Flow Statement については、FAR II で説明する。

TAC Company		
Statement of Cash Flows		
For the Year Ended December 31, 20X1 (in thousands)		
CASH FLOWS FROM OPERATING ACTIVITIES		
Cash received from customers	\$ 900	
Cash paid to suppliers and employees	(550)	
Interest received	100	
Interest paid	(50)	
Income taxes paid	<u>(60)</u>	
Net cash provided by operating activities		<u>\$ 340</u>
CASH FLOWS FROM INVESTING ACTIVITIES		
Capital expenditures for PPE	<u>(1,200)</u>	
Net cash used in investing activities		<u>(1,200)</u>
CASH FLOWS FROM FINANCING ACTIVITIES		
Proceeds from issuance of long-term debt	1,600	
Dividends paid	<u>(200)</u>	
Net cash provided by financing activities		<u>1,400</u>
NET INCREASE IN CASH AND CASH EQUIVALENTS		540
Cash and cash equivalents at beginning of year		<u>185</u>
Cash and cash equivalents at end of year		<u>\$ 725</u>

② Statement of Changes in Stockholders' Equity (S/S)

Statement of Changes in Stockholders' Equity は、B/S の Stockholders' Equity (株主資本) の増減明細を表す財務諸表である。Stockholders' Equity の詳細については、第 9 章で学習する。

TAC Company				
Statement of changes in Stockholders' equity				
For the Year Ended December 31, 20X1 (in thousands)				
	Common Stock	Additional Paid-in Capital	Retained Earnings	Total
December 31 20X0	\$3,000	1,000	6,000	10,000
Net Income	-	-	400	400
Dividend Payment	-	-	(200)	(200)
December 31 20X1	<u>3,000</u>	<u>1,000</u>	<u>6,200</u>	<u>\$10,200</u>

③ Notes (注記)

利害関係者に重要な情報を補足的に開示するために各財務諸表に Notes (注記) が記載される。

1. Basic Concepts of Financial Accounting Terminology

<input type="checkbox"/>	1	stock	株式
<input type="checkbox"/>	2	stockholder	株主
<input type="checkbox"/>	3	board of directors	取締役会
<input type="checkbox"/>	4	director	取締役
<input type="checkbox"/>	5	stockholders' meeting	株主総会
<input type="checkbox"/>	6	voting right	議決権
<input type="checkbox"/>	7	officer	執行役
<input type="checkbox"/>	8	management	経営者
<input type="checkbox"/>	9	financing	資金調達
<input type="checkbox"/>	10	investment	投資
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>			
<input type="checkbox"/>	11	bond	社債
<input type="checkbox"/>	12	securities	証券
<input type="checkbox"/>	13	bondholder	社債権者
<input type="checkbox"/>	14	receivable	債権
<input type="checkbox"/>	15	payable	債務
<input type="checkbox"/>	16	creditor	債権者
<input type="checkbox"/>	17	debtor	債務者
<input type="checkbox"/>	18	interest	持分 / 利息
<input type="checkbox"/>	19	interest rate	利率
<input type="checkbox"/>	20	dividend	配当
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>			
<input type="checkbox"/>	21	stakeholder	利害関係者
<input type="checkbox"/>	22	financial accounting	財務会計
<input type="checkbox"/>	23	financial statements	財務諸表
<input type="checkbox"/>	24	going concern	継続企業
<input type="checkbox"/>	25	accounting period	会計期間
<input type="checkbox"/>	26	fiscal year	事業年度
<input type="checkbox"/>	27	beginning of the year	期首
<input type="checkbox"/>	28	end of the year / year-end	期末
<input type="checkbox"/>	29	generally accepted accounting principles	一般に認められた会計原則
<input type="checkbox"/>	30	GAAP	一般に認められた会計原則

1. Basic Concepts of Financial Accounting

<input type="checkbox"/>	31	income statement	損益計算書
<input type="checkbox"/>	32	balance sheet	貸借対照表
<input type="checkbox"/>	33	revenue	収益
<input type="checkbox"/>	34	expense	費用
<input type="checkbox"/>	35	net income	当期純利益
<input type="checkbox"/>	36	operating results	経営成績
<input type="checkbox"/>	37	asset	資産
<input type="checkbox"/>	38	liability	負債
<input type="checkbox"/>	39	net assets	純資産
<input type="checkbox"/>	40	stockholders' equity	資本
<hr/>			
<input type="checkbox"/>	41	financial position	財政状態
<input type="checkbox"/>	42	accounting equation	会計等式
<input type="checkbox"/>	43	bookkeeping	簿記

【MEMO】

2. Accounting Process

(簿記一巡の手続)

Objectives

Bookkeeping (簿記) とは、企業の **operating results** (経営成績) および **financial position** (財政状態) を明らかにする目的で、企業活動による財産などの増減変化を **book** (帳簿) に記入することをいいます。具体的には、取引を仕訳帳で仕訳し、総勘定元帳へ転記し、期末に決算修正を行って **book** を締切り、**income statement** (損益計算書) や **balance sheet** (貸借対照表) などの **financial statements** (財務諸表) を作成する一連の手続を、毎期繰り返して行うことです。この一連の手続を、**accounting process** (簿記一巡の手続) といいます。本章では、取引発生から **financial statements** の作成に至る諸手続の学習を通じて、**bookkeeping** の基本を身に付けることを目標とします。

Key Topics

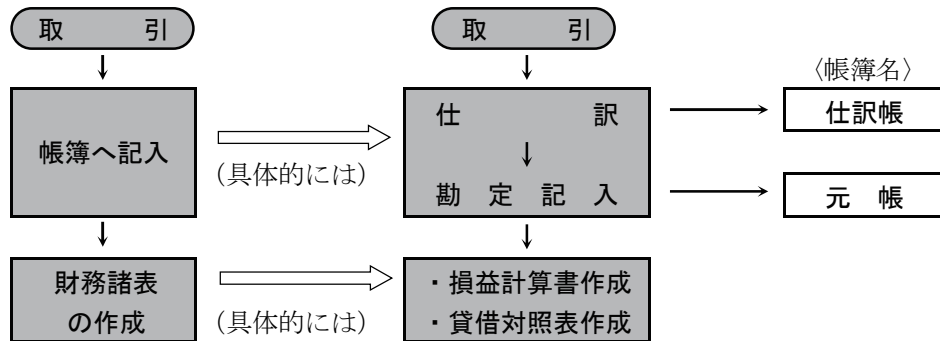
CORE FAR

1. **Accounting Process** (簿記一巡の手続) ①～勘定記入～
2. **Accounting Process** (簿記一巡の手続) ②～仕訳～
3. **Accounting Process** (簿記一巡の手続) ③～試算表～
4. **Accounting Process** (簿記一巡の手続) ④～財務諸表～

1. Accounting Process (簿記一巡の手続) ①～勘定記入～

(1) Accounting process

Bookkeeping は、企業の行う日々の transaction (取引) を book (帳簿) に記入していくものであるが、その際には、まず journal entry (journalizing、仕訳) を行い、次にそれを ledger (元帳) の account (勘定) に記入するという順序で行う。そして、これらの帳簿記入に基づいて一定期間ごとに financial statements が作成されることになる。



このように、transactions を book へ記入し、さらに financial statements を作成するという一連の手続を accounting process (簿記一巡の手続) という。上の図は accounting process の最も単純かつ基本的なプロセスである。会計担当者は、このプロセスに従って会計処理を行う。

<参考> Financial transactions (会計上の取引)

簿記は企業活動を book へ記入しますが、すべての企業活動が帳簿へ記入されるわけではありません。帳簿へ記入される対象となる取引 (これを financial transactions (会計上の取引) といいます) は、経済的事象であり、上記の資産・負債・資本・収益・費用を増減させる、すなわち、accounting equation (P.30 参照) の変動をもたらすものです。

(2) 勘定記入

前ページの図にあるように、**transactions** を **book** へ記入する順序は、「仕訳→勘定記入」となるが、勘定記入から先に学習した方が分かりやすいので、ここでは勘定記入を先に述べていくことにする。

① Account (a/c、勘定)

簿記では、資産・負債・資本・収益・費用の増減を記録し、計算するために **account** (a/c、勘定) を設け、それぞれの **account** に名称をつける。その名称は、**account title** (勘定科目) と呼ばれる。たとえば、**cash account** (現金勘定)、**land account** (土地勘定) などである。

② General ledger (G/L、総勘定元帳)

Account の記録・計算は、**general ledger** (総勘定元帳) に記入される。

General Ledger

Cash						#10
Date		Account	PR	Dr.	Cr.	Balance
20X8						
Oct.	1	Balance	√			2,000,000
	2	Salaries expense	J1		175,000	1,825,000
	10	Sales	J1	600,000		2,425,000
	11	Supplies	J1		200,000	2,225,000

ただし、手元で計算を行うときなどは、便宜的に **T-account** (T勘定) と呼ばれる次のようなT字型を用いる。ここでは、左右それぞれの欄において、左側から日付、相手勘定科目、金額を記入していく。

Cash

10/1	Beginning balance	2,000,000	10/2	Salaries expense	175,000
10/10	Sales	600,000	10/11	Supplies	200,000

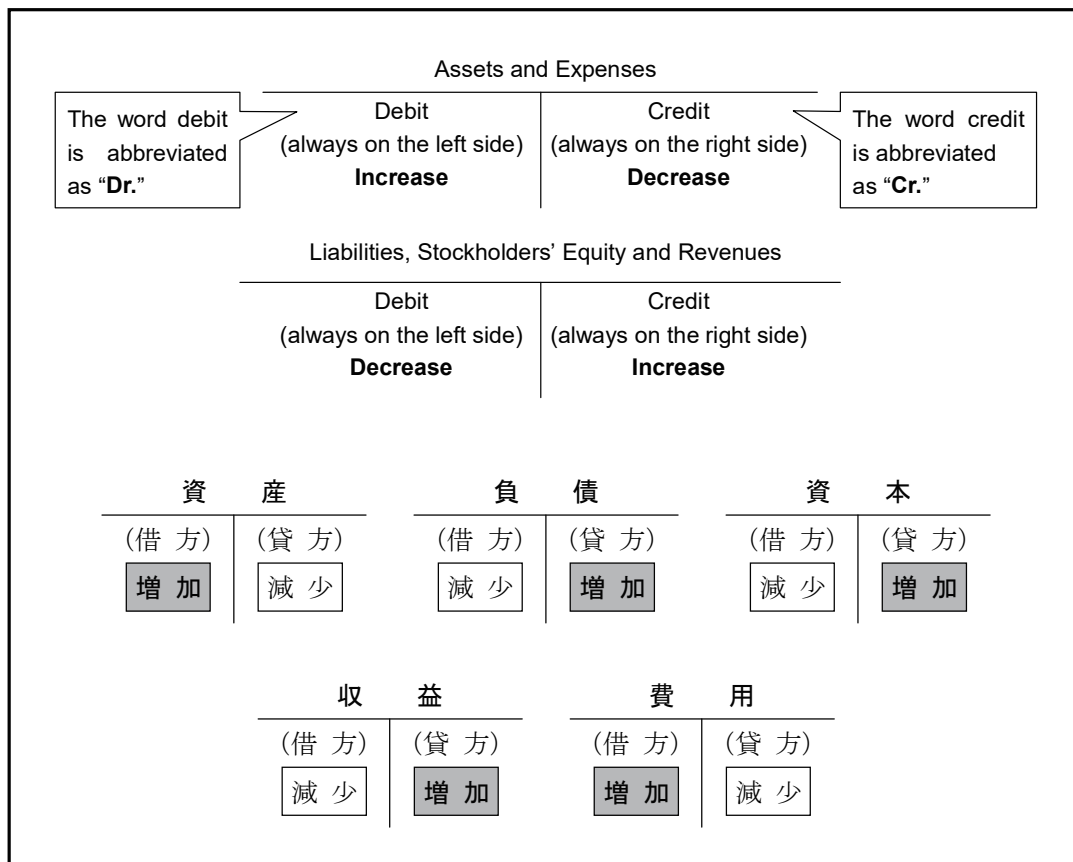
なお、具体的な **general ledger** への記載の仕方、T勘定への記載の仕方は次節で再度取り扱う。

③ 勘定記入のルール

Transactions は、勘定記入のルールに従ってそれぞれの account へ記入される。簿記では、account の左側を debit (Dr. ; 借方)、右側を credit (Cr. ; 貸方) と呼ぶ。なお、この debit、credit という語句自体は現在では何の意味もないので、勘定記入に際しての約束ごとと考えてほしい。そして、資産・負債・資本・収益・費用の各 account には、その増減が次のように記入される。

- ◆ 資産、費用
 - 増加は常に debit (左側) に記録
 - 減少は常に credit (右側) に記録

- ◆ 負債、資本、収益
 - 増加は常に credit (右側) に記録
 - 減少は常に debit (左側) に記録



Example

以下の取引による cash の増減を account に記録すると、次の T-account のようになる。

- ① A corporation received \$300 cash from a customer.
- ② A corporation borrowed \$5,000 cash from a bank.
- ③ A corporation paid \$2,000 cash to a supplier.
- ④ A corporation sold merchandise for \$800 cash.

Cash			
①	300	③	2,000
②	5,000		
④	800		

(3) Transactions の二面性

前ページの例では、cash の増減だけをみたが、transactions は、accounting equation が常に成り立つように、accounting equation (P.30 を参照) の中の少なくとも 2 つの項目を変動させることになる。

たとえば、ある資産が減少した場合には、他の資産が増加するか、あるいは負債や資本が減少することになる (具体例は次の example を参照)。

なお、このように accounting equation の少なくとも 2 つの項目が変動し、常にこの等式が成り立つように処理していく仕組みのことを、double-entry system (複式簿記) という。

以下の transactions の具体例を通じ、transactions が行われた場合に、少なくとも 2 つの項目が増減することを確認してほしい。

Example

- 株式を発行して現金の払い込みを受け、会社を設立した。

Cash (現金 ; 資産) が増加するとともに common stock (普通株式 (資本金) ; 資本) が増加する。

→Cash はその増加を debit に記入し、common stock はその増加を credit に記入

- 現金を銀行から借りた。

Cash (現金 ; 資産) が増加するとともに loan payable (借入金 ; 負債) が増加する。

→Cash はその増加を debit に記入し、loan payable はその増加を credit に記入

- 車両を現金 (預金) で購入した。

Cash が減少するとともに truck (車両 ; 資産) が増加する。

→Cash はその減少を credit に記入し、truck はその増加を debit に記入

- 土地を購入し、手形（将来の支払いを約束する証券）を振り出した。
Land（土地：資産）が増加するとともに notes payable（支払手形：負債）が増加する。
→Landはその増加を debit に記入し、notes payable はその増加を credit に記入
（Notes（手形）を相手方に渡しているということは、言い換えれば、いまだ現金を支払ってはおらず、将来支払う約束をしており、かつ、notes を発行している状態である。つまり、将来において支払いを行う義務（金銭債務）を負っている。このため、notes を振り出した場合にはそれを負債として処理する。これを表すのが、notes payable という勘定である。）
- 商品を現金を支払って仕入れた。
Inventory（商品：資産）が増加するとともに cash が減少する。
→Inventoryはその増加を debit に記入し、cash はその減少を credit に記入
- 商品を掛けで仕入れた。
Inventoryが増加するとともに accounts payable（買掛金；負債）が増加する。
→Inventoryはその増加を debit に記入し、accounts payable はその増加を credit に記入
（「掛けで（on account）」購入したということは、言い換えれば、いまだ現金を支払ってはおらず、将来支払う約束をしている（ただし notes は発行していない）状態である。つまり、将来において支払いを行う義務（金銭債務）を負っている。このため、掛けで購入した場合にはそれを負債として処理する。これを表すのが、accounts payable という勘定である。）
- 掛け仕入の代金を支払った。
Accounts payable が減少するとともに cash が減少する。
→Accounts payable はその減少を debit に記入し、cash はその減少を credit に記入
- 商品を現金販売した。
Cashが増加するとともに sales（売上；収益）が増加する。
→Cashはその増加を debit に記入し、sales はその増加を credit に記入
（販売した商品の原価に関する取り扱いは後述する。）

- 商品を掛け販売した。

Accounts receivable (売掛金；資産) が増加するとともに **sales** が増加する。

→ **Accounts receivable** はその増加を **debit** に記入し、**sales** はその増加を **credit** に記入

(「掛けで (on account)」販売したということは、言い換えれば、いまだ現金を受け取ってはならず、将来受け取る約束をしている状態である。つまり、将来において支払いを受ける権利 (金銭債権) を持っている。このため、掛けで販売した場合にはそれを資産として処理する。これを表すのが、**accounts receivable** という勘定である。)

- 掛け販売の代金を回収した。

Accounts receivable が減少するとともに **cash** が増加する。

→ **Accounts receivable** はその減少を **credit** に記入し、**cash** はその増加を **debit** に記入

- 従業員の給料を支払った。

Cash が減少するとともに **salaries expense** (給料；費用) が増加する。

→ **Cash** はその減少を **credit** に記入し、**salaries expense** はその増加を **debit** に記入

各々の **transactions** が記帳された後でも、**accounting equation** の両辺の合計金額が常に等しいことを確認してほしい。

(4) Accounting equation (会計等式)

Assets (資産)	=	Liabilities (負債)	+	Stockholders' equity (資本)
Economic resources owned by an entity (企業が所有する経済的資源)	=	Creditors' claims to assets (資産に対する債権者持分)	+	Owners' claims to assets (資産に対する株主持分)

この式を **accounting equation** (会計等式) という。次章からみていく **bookkeeping** (簿記) では、この等式が必ず成り立つように、企業の行う取引が処理されている。

この等式が必ず成り立つということは、

- 企業の **total assets** は、**liabilities** と **stockholders' equity** の総額と常に一致する
- **Assets** の増減は、同額の **liabilities** または **stockholders' equity** の増減を伴うということになる。

<参考> Notes payable と accounts payable の違い

上記の設例において、「代金が未払いのケース」がありますが、使用している勘定科目としては、**notes payable** と **accounts payable** が用いられています。

両者の違いは、将来の支払いを約束するものとして、**note** (手形) を発行しているか否かの違いです。

Accounts payable にするケースというのは、単に代金を支払っていないだけであり、**notes** を相手方に渡していません。つまり、「ツケ」で購入している場合なのです。

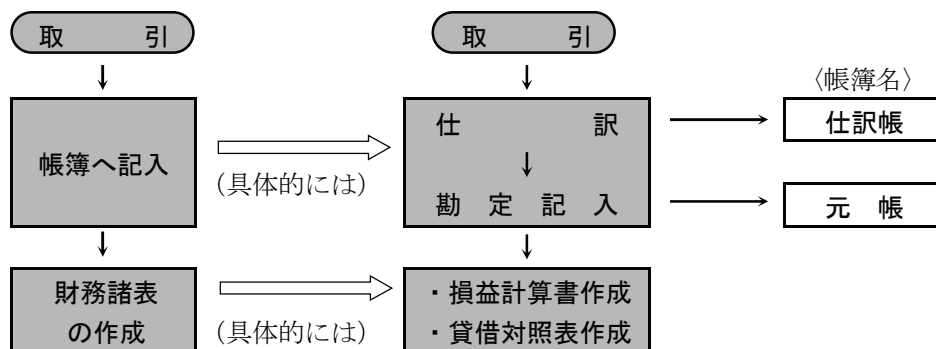
一方、**notes payable** にするケースというのは、**notes** を相手に渡している場合です。

ここで、「ツケ」で売っても **notes** を受けとっても、販売側は「代金を支払ってくださいという権利 (金銭債権)」は有するわけですが、**notes** は一定の要件を満たすと簡単に第三者に譲渡できるという違いがあります。つまり、**notes** には、「何月何日になったら〇〇さんから×××ドルの支払いを受けることができる」という内容が記載されていますので、それを誰かに譲渡することが簡単にできるわけです。

このような違いがあるため、会計上も、**accounts payable** と **notes payable** (受取側であれば **accounts receivable** と **notes receivable** (受取手形)) というように **account title** を使い分けているのです。

2. Accounting Process (簿記一巡の手続) ②～仕訳～

第1節でも示したように、最もシンプルな accounting process は次のようになる。



本節では、仕訳の方法をみた上で、勘定記入とのつながりを述べていくことにする。

(1) Journal entry (仕訳)

Transactions を勘定記入のルールによって、各 account に直接記入すると、記入違いや記入漏れを犯しやすくなる。そこで、このような誤りを防ぐために、account へ記入する前にいったん journal entry (journalizing ; 仕訳) を行い、transactions の日付順に general journal (普通仕訳帳) に記入するという方法をとる。

Date		Account & Explanation	PR*	Debit	Credit
20X8					
Oct.	2	Salaries expense	52	175,000	
		Cash	10		175,000
		Paid employee's salaries			
	10	Cash	10	600,000	
		Sales	42		600,000
		Received for goods sold			
	11	Supplies	12	200,000	
		Cash	10		200,000
		Purchased supplies			

* Posting Reference (転記した他の帳簿における勘定口座番号)

ただし、通常は便宜的に次のように行う。

(Dr.)	Buildings	100
	(Cr.) Cash	100

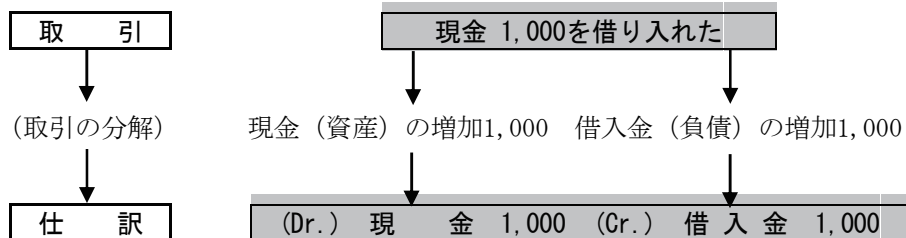
Journal entry について、具体的に確認をしていく。

Journal entry とは、transactions を debit の要素と credit の要素に分解して、増減した account とその金額を決定することをいう。

Journal entry は、次の手順により行われる。

- (a) Analysis of transactions (取引の分解)
Transactions を debit の要素と credit の要素に分解する。
- (b) Determination of accounts (勘定科目の決定)
該当する財務諸表の構成要素 (資産、負債、資本、収益、費用)、ひいては transactions を表現するのに適切な account を選択する。
- (c) Measurement (測定=金額の決定)
選択された account の発生額または増減額を決定する。なお、debit の金額と credit の金額は常に一致する。

Example



Example

- 株式を発行して現金の払い込みを受け、会社を設立した。

Cash	xxx	
Common stock		xxx

- 現金を銀行から借りた。

Cash	xxx	
Loan payable		xxx

- 車両を現金（預金）で購入した。

Truck	xxx	
Cash		xxx

- 土地を購入し、手形を振り出した。

Land	xxx	
Notes payable		xxx

- 商品を現金を支払って仕入れた。

Inventory (or Purchases)	xxx	
Cash		xxx

(Inventory と purchases のどちらを用いるかについては、第 4 章で取り扱う。)

- 商品を掛けで仕入れた。

Inventory (or Purchases)	xxx	
Accounts payable		xxx

- 掛け仕入の代金を支払った。

Accounts payable	xxx	
Cash		xxx

- 商品を現金販売した。
(販売した商品の原価に関する取り扱いは後述する。)

Cash	xxx	
Sales		xxx

- 商品を掛け販売した。

Accounts receivable	xxx	
Sales		xxx

- 掛け販売の代金を回収した。

Cash	xxx	
Accounts receivable		xxx

- 従業員の給料を支払った。

Salaries expense	xxx	
Cash		xxx

- 備品（装置など）を現金（預金）で購入した。

Equipment	xxx	
Cash		xxx

- 消耗品（文房具など）を現金（預金）で購入した。

Supplies	xxx	
Cash		xxx

(注) 一般的には、会社で「備品」というと文房具などを指すこともあるが、会計上は、机、パソコンなどを **equipment** (備品) と呼ぶ。

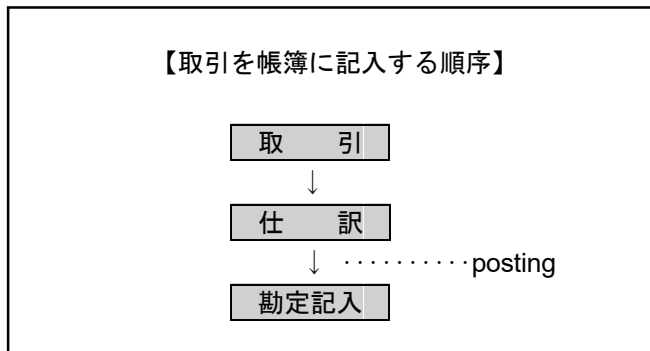
- 広告宣伝を行い、代金を現金で支払った。

Advertising expense	xxx	
Cash		xxx

(2) Posting (転記)

ここまでは、まず勘定記入を示し、次に **journal entry** の行い方について述べてきたが、正式には先に **journal entry** を行い、その後に **account** へ記入されることになる。**General journal** から **general ledger** に **transactions** を書き移すことを、**posting (転記)** という。

なお、**posting** を行うにあたり、**debit** に仕訳された科目はその **account** の **debit** に記入され、**credit** に仕訳された科目はその **account** の **credit** に記入する。



<参考>

上記のように、**transactions** は、まずは **general journal** に記入され、その上で **general ledger** に記入されます。また、**general ledger** への **posting** により、**account** の金額が確定することになります。

このため、**general journal** のことを **book of original entry (原初記入帳簿)**、**general ledger** のことを **book of final entry (最終記入帳簿)** と呼ぶことがあります。

Example

取引

4月10日に借入を行い、現金1,000を受け取った。

仕訳

4/10 (借) 現金 1,000 (貸) 借入金 1,000

現金(資産)が1,000
増加する。借入金(負債)が1,000
増加する。

勘定記入

現金	
1,000	

借入金	
	1,000

〔ただし、取引内容が詳しくわかるように、転記の際に日付や相手勘定科目が付されるので、次のようになる。〕

現金			借入金		
(日付)	(相手勘定)	(金額)	(日付)	(相手勘定)	(金額)
4/10	借入金	1,000	4/10	現金	1,000

なお、これをT勘定ではなく general ledger に記入すると、次のようになる。

Cash						#10
Date		Account	PR	Dr.	Cr.	Balance
20X8						
April	1	Balance	√			3,500
	10	Loan payable	J1	1,000		4,500

Loan payable						#330
Date		Account	PR	Dr.	Cr.	Balance
20X8						
April	1	Balance	√			100,000
	10	Cash	J1		1,000	101,000

3. Accounting Process (簿記一巡の手続) ③～試算表～

(1) Account の balance の計算

勘定記入の方法についてはすでに述べてきたが、ここでは新たにいくつかの用語をおさえてほしい。

期首において所持金が 1,000 だけあり、期中の取引において、accounts receivable の回収により cash が 7,000 増加し、一方で事務所の家賃の支払い (rent expense (支払賃借料; 費用) の支払い) によって cash が 3,000 減少したとする。期末に残っているのは、 $1,000 + 7,000 - 3,000$ で 5,000 になる。

ここで、期首にすでにあった分のことを、beginning balance (B.B. または Beg. bal. と略します) といい、期末に残っている分のことを、ending balance (E.B. または End. bal. と略します) と呼ぶ。

これを図で示すと、次のようになる。

Beginning balance 1,000	当期の減少 3,000
当期の増加 7,000	
} 差額で ending balance 5,000 が示されます。	

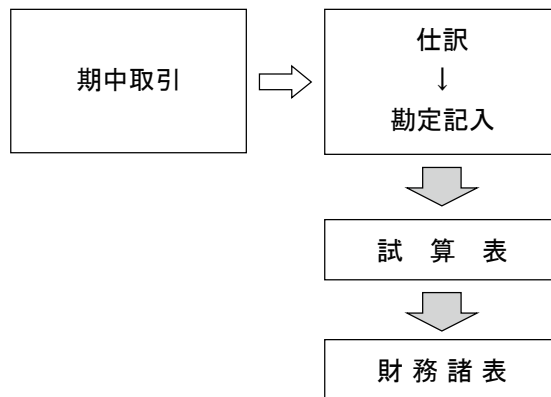
なお、通常、各勘定の balance (残高、差額のこと) は、増加側に生じるので、資産、費用に関しては debit、負債、資本、収益に関しては credit の方が大きくなる。

このような状態を normal balance (正常残高) という。

(2) Preparation of a trial balance (試算表の作成)

① Trial balance とは

簿記のプロセスにおいては、期中取引の **journal entry** を行い、これを **general ledger** へ **posting** する。そして次に、各 **account** の **balance** の一覧表を作成する。この一覧表を **trial balance (T/B、試算表)** という。

**Example**

TAC Company		
Trial Balance		
December 31, 20X0		
	Dr.	Cr.
Cash	\$5,000	
Accounts Receivable	3,600	
Inventory	2,500	
Equipment	3,500	
Accounts Payable		\$2,600
Common Stock		10,000
Sales		5,800
Cost of Goods Sold	3,650	
Advertising Expense	150	
Total	<u>\$18,400</u>	<u>\$18,400</u>

② Purpose of trial balance

Trial balance は、financial statements と異なり、必ず作らなければならない（法的に求められる）ものではない。しかし、実務上は一般的に作成されるのが通常である。

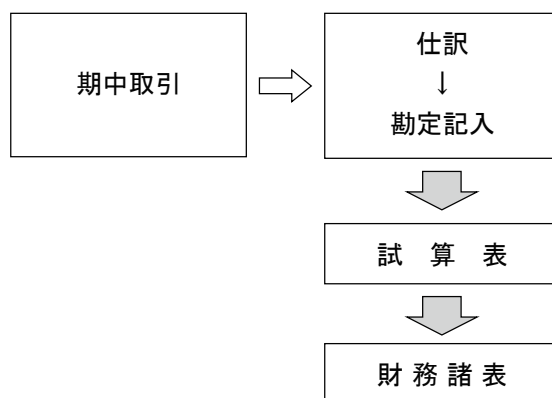
後述するが、financial statement は、general ledger に基づき作成される。一方で、general ledger は、journal entry を posting して作成される。ということは、「仮に journal entry が正しくても、posting を誤っていると、誤った financial statements が作成される」ことになる。

そこで、trial balance を作成することで、posting の正確さを確認することになる。

Trial Balance		
	Dr.	Cr.
Asset accounts	\$XXX	
Liability accounts		\$XXX
Stockholders' Equity accounts		\$XXX
Revenue accounts		\$XXX
Expense accounts	\$XXX	
Total	<u>\$XXX</u>	<u>\$XXX</u>
	=	
	一致する	

4. Accounting Process (簿記一巡の手続) ④～財務諸表～

すでにみたように、transactions はまず book へ記入され、次にこれに基づいて trial balance が作成されたのち、financial statements が作成されることになる。



これらが balance sheet になる。

Trial Balance		
	Dr.	Cr.
Asset accounts	\$XXX	
Liability accounts		\$XXX
Stockholders' Equity accounts		\$XXX
Revenue accounts		\$XXX
Expense accounts	\$XXX	
Total	<u>\$XXX</u>	<u>\$XXX</u>

これらが income statement になる。

Example

次の trial balance から income statement と balance sheet を作成してみよう。

Account Title	Account Balance	
	Debit	Credit
Cash	\$ 120,400	
Accounts Receivable	14,000	
Notes Receivable	12,000	
Supplies	6,000	
Land	8,000	
Building	120,000	
Accounts Payable		\$ 20,000
Mortgage Payable		80,000
Notes Payable		10,000
Common Stock		170,000
Sales		5,000
Insurance Expense	100	
Rent Expense	1,000	
Salaries Expense	3,000	
Supplies Expense	300	
Commission Expense	200	
Total	<u>\$ 285,000</u>	<u>\$ 285,000</u>

まず、income statement を作ると、次のようになる。

Insurance Expense	100	Sales	5,000
Rent Expense	1,000		
Salaries Expense	3,000		
Supplies Expense	300		
Commission expense	200		
Net Income	400		
Total	<u>5,000</u>	Total	<u>5,000</u>

このように、revenues の合計と expenses の合計の差額として、net income が求められる。

次に、balance sheet が次のように作成される。

Cash	120,400	Accounts Payable	20,000
Accounts Receivable	14,000	Mortgage Payable	80,000
Notes Receivable	12,000	Notes Payable	10,000
Supplies	6,000	Common Stock	170,000
Land	8,000	Retained Earnings	400
Building	120,000		
Total	<u>280,400</u>	Total	<u>280,400</u>

このように、income statement で算定された net income は、balance sheet においては retained earnings の増加として処理されることになる。

ここでは、income statement に記載される net income と、balance sheet に記載される retained earnings (利益剰余金、留保利益) の関係について確認していく。

Income statement で算定した net income は、株主から出資された資金を原資として企業活動を行って得たものであり、「株主の出資した資金の増加」である。したがって、net income の分だけ株主の出資した資金が増加して、balance sheet の stockholders' equity が増加することになる。

つまり、income statement で算定された net income は、balance sheet において stockholders' equity の増加として処理されることになる。この際、balance sheet において、net income (←企業活動の「成果」) は common stock (←企業活動の「元本」) と区別するために retained earnings として表示される。

Revenues や expenses の勘定は、日常の取引の journal entry で、retained earnings 勘定の代わりに用いられる、いわば「R/E の代理勘定」ということができる。

Example I/S上の利益（当期純利益）とB/S上の利益（利益剰余金）の関係

I/S上の利益とB/S上の利益の関係について考えてみよう。

まず、資産 100 円（すべて現金）、負債 50 円、資本 50 円（すべて資本金）の企業が設立されたとする。この場合、企業のB/Sは〔図-1〕のようになる。

〔図-1〕

B/S	
資 産 100	負 債 50
	資本金 50

次に、この企業が 100 円の商品を購入して、それを 120 円で販売したとする。その結果、この企業は差引 20 円のもうけを獲得し、企業の **net assets** は 20 円だけ増加する。

この場合、企業のB/Sは〔図-2〕のようになる。このB/S上の利益（=20 円）は、**retained earnings**（利益剰余金、留保利益）と呼ばれる。また、20 円のもうけは〔図-3〕のようにI/S上でも示される。このI/S上の利益（=20 円）は、**net income**（当期純利益）と呼ばれる。このように、第1期においては、B/S上の **retained earnings** とI/S上の **net income** の金額は一致することになる。

〔図-2〕

B/S	
資 産 120	負 債 50
	資本金 50
↓	利 益 20

〔図-3〕

I/S	
費 用 100	収 益 120
利 益 20	

さらに、第2期において同様の取引を行ったとする。この企業の **net assets** は新たに 20 円だけ増加する。この場合、企業の B/S・I/S は [図-4]・[図-5] のようになる。

このように、第2期においては、B/S上の **retained earnings** (=40 円) と I/S上の **net income** (=20 円) の金額は一致しない。これは、I/Sが当期(第2期)のみの利益を計算しているのに対し、B/Sが設立から当期末まで(第1期と第2期)の利益の合計を計算しているからである。

言い換えると、B/S上の **retained earnings** は当期以前の I/S上の利益が累積されているということになる。

[図-4]

[図-5]

B/S

	負 債
資 産	50
140	資本金
	50
↓	利 益
↓	40

I/S

費 用	収 益
100	120
利 益	
20	

Exercise

次の資料に基づいて、下記の設問に答えなさい。

◆ Beginning balance

Account Title	Account Balances	
	Debit	Credit
Cash	\$ 50,000	
Accounts receivable	45,000	
Notes receivable	3,000	
Inventory	55,000	
Supplies	2,000	
Land	95,000	
Accounts payable		10,000
Loan payable		15,000
Mortgage payable		25,000
Common stock		150,000
Retained earnings		50,000
Total	250,000	250,000

◆ 期中取引（勘定科目の解説は次ページ）

- 当期の商品仕入高の合計は\$200,000であった（inventory 勘定を使うこと）。なお、すべて掛仕入（on account）である。
- 当期の商品販売高の合計は\$335,000であった（sales）。なお、すべて掛売上（on account）である。販売した商品の原価（cost）は\$190,000であった。
- 当期の給与の発生額が\$75,000であった（salaries expense）。なお、現金で支払った。
- 当期の広告宣伝費は\$30,000であった（advertising expense）。なお、現金で支払った。
- 当期の accounts payable の支払額は\$180,000であった。
- 当期の accounts receivable の回収額は\$340,000であった。
- 当期の期末において備品\$30,000を購入した（equipment）。なお、支払いは現金で行った。

- 当期において、landの一部を他社に貸し付けた。当期に生じた賃貸料は\$10,000であり、すべて現金で受け取った (rent revenue)。
- 期首から1年間 truck を借りて営業活動に使用した。当期に生じた賃借料は\$5,000であり、すべて現金で支払った (rent expense)。
- 期首において1年分の損害保険に加入し、\$1,000を現金で支払った (insurance expense)。
- 不動産業者に対する支払手数料が\$1,300生じ、すべて現金で支払った (commission expense)。
- 当期において、loan payable および mortgage payable に係る利息\$2,000が発生し、現金で支払った (interest expense)。
- 期首から保有していた supplies について、当期に\$500分だけ消費した (supplies expense)。
- その他少額の費用が\$200発生し、すべて現金で支払った (miscellaneous expense)。

(参考)

- Mortgage payable (抵当借入金；負債) は、担保付きの借入であり、性格的には loan payable と同様である。
- Cost of goods sold (売上原価；費用) は、商品を販売した場合の、その商品の原価を示すものである。たとえば、100円で購入した商品を150円で販売した場合、150円が sales、100円が cost of goods sold となり、差額の50円が販売による利益となる。具体的には、販売した分だけ inventory を減らして、cost of goods sold を計上することになる。
- Rent revenue (受取賃貸料；収益) は、事務所などの賃貸料などの受け取りに係る収益を示す。
- Rent expense (支払賃借料；費用) は、事務所などの賃借料などの支払いに係る費用を示す。
- Insurance expense (支払保険料；費用) は、建物や車両に付した保険に係る費用を示す。
- Commission expense (支払手数料；費用) は、不動産売買取引などの取引に要した手数料を示す。
- 発生した利息を費用計上するにあたっては、interest expense (支払利息；費用) 勘定を用いる。
- Supplies expense (消耗品費；費用) は、supplies (消耗品；資産) を使用することで発生する費用を示す。
- Miscellaneous expense (雑費；費用) は、重要性の乏しい少額の expense などを示す。

- (1) 期中取引について、**journal entries** を作成しなさい。
- (2) (1) で行った **journal entries** について、**posting** を行いなさい。
- (3) 期末における **trial balance** を作成しなさい。
- (4) 当期の **income statement** と **balance sheet** を作成しなさい。

(1) Journal entries

- 当期の商品の仕入れ高の合計は\$200,000であった。なお、すべて掛仕入である。

 (Dr.)

 (Cr.)

- 当期の商品の販売高の合計は\$335,000であった。なお、すべて掛売上である。
販売した商品の原価は\$190,000であった。

 (Dr.)

 (Cr.)

 (Dr.)

 (Cr.)

- 当期の給与の発生額が\$75,000であった。なお、現金で支払った。

 (Dr.)

 (Cr.)

- 当期の広告宣伝費は\$30,000であった。なお、現金で支払った。

 (Dr.)

 (Cr.)

- 当期の **accounts payable** の支払額は\$180,000であった。

 (Dr.)

 (Cr.)

- 当期の **accounts receivable** の回収額は\$340,000であった。

 (Dr.)

 (Cr.)

- 当期の期末において備品\$30,000を購入した。なお、支払いは現金で行った。

(Dr.)

(Cr.)

- 当期において、landの一部を他社に貸し付けた。当期に生じた賃貸料は\$10,000であり、すべて現金で受け取った。

(Dr.)

(Cr.)

- 期首から1年間 truck を借りて営業活動に使用した。当期に生じた賃借料は\$5,000であり、すべて現金で支払った。

(Dr.)

(Cr.)

- 期首において1年分の損害保険に加入し、\$1,000を現金で支払った。

(Dr.)

(Cr.)

- 不動産業者に対する支払手数料が\$1,300生じ、すべて現金で支払った。

(Dr.)

(Cr.)

- 当期において、loan payable および mortgage payable に係る利息\$2,000が発生し、現金で支払った。

(Dr.)

(Cr.)

- 期首から保有していた supplies について、当期に\$500分だけ消費した。

(Dr.)

(Cr.)

- その他少額の費用が\$200発生し、すべて現金で支払った。

(Dr.)

(Cr.)

(2) Posting (金額のみの記入でかまいません。)

Cash

50,000	

Accounts receivable

45,000	

Notes receivable

3,000	
-------	--

Inventory

55,000	

Supplies

2,000	
-------	--

Equipment

--	--

Land

95,000	
--------	--

Accounts payable

	10,000
--	--------

Loan payable

	15,000
--	--------

Mortgage payable

	25,000
--	--------

Common stock

	150,000
--	---------

Retained earnings

	50,000
--	--------

Sales

--	--

Rent revenue

--	--

Cost of goods sold

--	--

Salaries expense

--	--

Advertising expense

--	--

Supplies expense

--	--

Rent expense

Insurance expense

Commission expense

Miscellaneous expense

Interest expense

(4) Financial statements

Income Statement

() () () (
() () () (
() () () (
() () () (
() () () (
() () () (
() () () (
() () () (
Net income	() () (
	<u>(</u>) (<u>) (</u>

Balance Sheet

Cash	() (Accounts payable	() (
Accounts receivable	() (Loan payable	() (
Notes receivable	() (Mortgage payable	() (
Inventory	() (Common stock	() (
Supplies	() (Retained earnings	() (
() () (
Land	() (
	<u>(</u>) (<u>(</u>	<u>) (</u>

【解答と解説】

(1) Journal entries

- 当期の商品の仕入れ高の合計は\$200,000であった。なお、すべて掛仕入である。

(Dr.) Inventory	200,000
(Cr.) Accounts payable	200,000

- 当期の商品の販売高の合計は\$335,000であった。なお、すべて掛売上である。販売した商品の原価は\$190,000であった。

(Dr.) Accounts receivable	335,000
(Cr.) Sales	335,000
(Dr.) Cost of goods sold	190,000
(Cr.) Inventory	190,000

詳しくは第4章で解説するが、販売した分(使用した分)だけ inventory (asset) から cost of goods sold (expense) に振り替える処理を行う。

- 当期の給与の発生額が\$75,000であった。なお、現金で支払った。

(Dr.) Salaries expense	75,000
(Cr.) Cash	75,000

なお、他の問題では wages expense と表現されていることもある。Wages expense (賃金;費用)は、salaries expense と同じものと考えてしまってよい。

- 当期の広告宣伝費は\$30,000であった。なお、現金で支払った。

(Dr.) Advertising expense	30,000
(Cr.) Cash	30,000

- 当期の accounts payable の支払額は\$180,000であった。

(Dr.) Accounts payable	180,000
(Cr.) Cash	180,000

- 当期の accounts receivable の回収額は\$340,000であった。

(Dr.) Cash	340,000
(Cr.) Accounts receivable	340,000

- 当期の期末において備品\$30,000を購入した。なお、支払いは現金で行った。

(Dr.) Equipment	30,000
(Cr.) Cash	30,000

- 当期において、landの一部を他社に貸し付けた。当期に生じた賃貸料は\$10,000であり、すべて現金で受け取った。

(Dr.) Cash	10,000
(Cr.) Rent revenue	10,000

- 期首から1年間 truck を借りて営業活動に使用した。当期に生じた賃貸料は\$5,000であり、すべて現金で支払った。

(Dr.) Rent expense	5,000
(Cr.) Cash	5,000

- 期首において1年分の損害保険に加入し、\$1,000を現金で支払った。

(Dr.) Insurance expense	1,000	
(Cr.) Cash		1,000
- 不動産業者に対する支払手数料が\$1,300生じ、すべて現金で支払った。

(Dr.) Commission expense	1,300	
(Cr.) Cash		1,300
- 当期において、loan payable および mortgage payable に係る利息\$2,000が発生し、現金で支払った。

(Dr.) Interest expense	2,000	
(Cr.) Cash		2,000
- 期首から保有していた supplies について、当期に\$500分だけ消費した。

(Dr.) Supplies expense	500	
(Cr.) Supplies		500
- その他少額の費用が\$200発生し、すべて現金で支払った。

(Dr.) Miscellaneous expense	200	
(Cr.) Cash		200

(2) Posting

Cash	
50,000	75,000
340,000	30,000
10,000	180,000
	30,000
	5,000
	1,000
	1,300
	2,000
	200

Accounts receivable	
45,000	340,000
335,000	

Notes receivable	
3,000	

Inventory	
55,000	190,000
200,000	

Supplies	
2,000	500

Equipment	
30,000	

Land	
95,000	

Accounts payable	
180,000	10,000
	200,000
Loan payable	
	15,000
Mortgage payable	
	25,000
Common stock	
	150,000
Retained earnings	
	50,000
Sales	
	335,000
Rent revenue	
	10,000
Cost of goods sold	
190,000	
Salaries expense	
75,000	
Advertising expense	
30,000	
Supplies expense	
500	

Rent expense

5,000	
-------	--

Insurance expense

1,000	
-------	--

Commission expense

1,300	
-------	--

Miscellaneous expense

200	
-----	--

Interest expense

2,000	
-------	--

(3) Trial balance

Account Title	Account Balances	
	Debit	Credit
Cash	\$ 75,500	
Accounts receivable	40,000	
Notes receivable	3,000	
Inventory	65,000	
Supplies	1,500	
Equipment	30,000	
Land	95,000	
Accounts payable		30,000
Loan payable		15,000
Mortgage payable		25,000
Common stock		150,000
Retained earnings		50,000
Sales		335,000
Rent revenue		10,000
Cost of goods sold	190,000	
Salaries expense	75,000	
Advertising expense	30,000	
Supplies expense	500	
Rent expense	5,000	
Insurance expense	1,000	
Commission expense	1,300	
Miscellaneous expense	200	
Interest expense	2,000	
Total	615,000	615,000

(4) Financial statements

Income Statement

Cost of goods sold	190,000	Sales	335,000
Salaries expense	75,000	Rent revenue	10,000
Advertising expense	30,000		
Supplies expense	500		
Rent expense	5,000		
Insurance expense	1,000		
Commission expense	1,300		
Miscellaneous expense	200		
Interest expense	2,000		
Net income	40,000		
	<u>345,000</u>		<u>345,000</u>

Balance Sheet

Cash	75,500	Accounts payable	30,000
Accounts receivable	40,000	Loan payable	15,000
Notes receivable	3,000	Mortgage payable	25,000
Inventory	65,000	Common stock	150,000
Supplies	1,500	Retained earnings	90,000
Equipment	30,000		
Land	95,000		
	<u>310,000</u>		<u>310,000</u>

【本章で取り扱った勘定科目のまとめ】

◆ Assets

- | | |
|-----------------------|-----------|
| ➤ Cash | 現金 |
| ➤ Accounts receivable | 売掛金 |
| ➤ Notes receivable | 受取手形 |
| ➤ Inventory | 商品など、棚卸資産 |
| ➤ Supplies | 消耗品 |
| ➤ Building | 建物 |
| ➤ Equipment | 備品 |
| ➤ Truck | 車両 |
| ➤ Land | 土地 |

◆ Liabilities

- | | |
|--------------------|-------|
| ➤ Accounts payable | 買掛金 |
| ➤ Notes payable | 支払手形 |
| ➤ Loan payable | 借入金 |
| ➤ Mortgage payable | 抵当借入金 |

◆ Stockholders' equity

- | | |
|---------------------|------------|
| ➤ Common stock | 普通株式（資本金） |
| ➤ Retained earnings | 利益剰余金、留保利益 |

◆ Revenues

- | | |
|----------------|-------|
| ➤ Sales | 売上 |
| ➤ Rent revenue | 受取賃貸料 |

◆ Expenses

- | | |
|-------------------------|-------|
| ➤ Cost of goods sold | 売上原価 |
| ➤ Salaries expense | 給料 |
| ➤ Wages expense | 賃金 |
| ➤ Advertising expense | 広告宣伝費 |
| ➤ Supplies expense | 消耗品費 |
| ➤ Rent expense | 支払賃借料 |
| ➤ Insurance expense | 支払保険料 |
| ➤ Commission expense | 支払手数料 |
| ➤ Miscellaneous expense | 雑費 |
| ➤ Interest expense | 支払利息 |

2. Accounting Process Terminology

<input type="checkbox"/>	1	transaction	取引
<input type="checkbox"/>	2	book	帳簿
<input type="checkbox"/>	3	ledger	元帳
<input type="checkbox"/>	4	account	勘定
<input type="checkbox"/>	5	accounting process	簿記一巡の手続
<input type="checkbox"/>	6	general ledger	総勘定元帳
<input type="checkbox"/>	7	debit	借方
<input type="checkbox"/>	8	Dr.	借方
<input type="checkbox"/>	9	credit	貸方
<input type="checkbox"/>	10	Cr.	貸方
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>			
<input type="checkbox"/>	11	double-entry system	複式簿記
<input type="checkbox"/>	12	journal entry	仕訳
<input type="checkbox"/>	13	journalizing	仕訳
<input type="checkbox"/>	14	general journal	普通仕訳帳
<input type="checkbox"/>	15	measurement	測定
<input type="checkbox"/>	16	posting	転記
<input type="checkbox"/>	17	balance	残高
<input type="checkbox"/>	18	normal balance	正常残高
<input type="checkbox"/>	19	trial balance	試算表
<input type="checkbox"/>	20	income statement	損益計算書
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>			
<input type="checkbox"/>	21	balance sheet	貸借対照表

INDEX 索引

A

Abandonment	242
Accelerated method	219
Account.....	22, 23
Accounting equation.....	30
Accounting period	8
Accrual basis accounting.....	67
Accrued expenses.....	76
Accrued revenues	86
Accumulated depreciation	216
Acid-test ratio	360
Additional paid-in capital.....	17, 324
Adjusted trial balance.....	90
Adjusting entry	68
Adjustment.....	68
Aging	260
Allowance for bad debts	258
Allowance for doubtful accounts	258
Allowance for uncollectible accounts	258
Appropriated retained earnings	330
Appropriations of retained earnings	330
Asset.....	11
Authorized shares	322
Average cost method	156

B

Bad debt expense	257
Balance sheet	11
Bank overdraft.....	294
Bank reconciliation	287
Bank statement	286
Beginning balance.....	23
Beginning of the year	8
Board of directors	3
Book value per share	367
Bookkeeping	22

C

Capital expenditures	234
Capitalization of interest	210
Cash basis accounting	66
Cash dividends	332
Cash equivalents	292
Cash flow statement.....	16
Cash on hand	282
Check	282, 284
Closing procedures	104
Commercial paper.....	292
Common stock.....	17, 324
Compensated absences	315
Compensating balances.....	294
Conservatism.....	176
Contingencies	310
Contra account.....	143, 217, 258, 268,300
Contributed capital	320
Conventional retail method.....	187
Cost of goods sold	119
Cr./Credit/Creditor.....	24
Cumulative preferred stock.....	339
Current liabilities.....	121
Current ratio	360

D

Date of declaration	332
Debt-equity ratio.....	359
Declining balance method(DB).....	226
Deferred revenue	86
Deposit in transit	288
Depreciation.....	216
Depreciation expense	216
Depreciation method	220
Disposal.....	238

Dividend payout	366	Income statement	10
Dividends	332	Income summary account	104
Dividends in arrears	339	Interest bearing note	298
Dividends payable.....	332	Interest coverage ratio.....	359
Double-declining balance method(DDB).....	226	Inventory.....	136
Double-entry system	27		
Dr./Debit.....	24	J	
		Journal entry/Journalizing.....	32
E			
Earnings per share.....	366	L	
Equity ratio	359	Last-in, first-out (LIFO) method.....	170
Economic entity.....	7	Legal capital.....	321
Expense.....	10	Liability.....	14
		Liquidity	360
F		Loss contingencies.....	310
Factoring.....	274	Loss on abandonment of (fixed asset).....	238
Financial position	11	Loss on purchase commitment.....	192
Finished goods.....	136	Lower of cost and Net Realizable Value	178
First-in, first-out (FIFO) method	158	Lower of cost or market	179
Free on board (FOB).....	190	Litigation	314
Freight insurance	142		
Freight-in.....	142	M	
Freight-out	119, 142	Markdown	185
Future economic benefit.....	14	Markup.....	185
Future economic sacrifice.....	14	Matching principle	77
		Measurement.....	66
G		Merchandise inventory	136
Gain contingencies.....	311	Monetary unit	7
General and administrative expense	119	Money market funds (MMF)	292
General journal	32	Moving average method.....	156
General ledger	23	Multiple-step income statement.....	118
Going concern.....	8		
Gross margin	119	N	
Gross profit method.....	188	Net assets.....	11,320
		Net profit margin	362
H		Net realizable value.....	178,258
half-year convention	223	Nominal account	107
Historical cost.....	142	No-par value stock	324
Holding gain / loss.....	169	Normal operating cycle.....	121
I		NSF check	289

O

Officer	4
One-year rule	121
Operating expense	119
Operating income	119
Operating results	10
Original cost	142, 203
Outstanding checks	288
Outstanding deposit	288
Outstanding shares	322

P

Paid-in capital	324
Par value	324
Par value stock	324
Participating preferred stock	344
Periodic inventory system	150
Perpetual inventory system	151
Petty cash	283
Physical (inventory) count	150
Pledging	273
Post-closing trial balance	108
Posting	36
Preferred stock	338
Prepaid expense	76
Price earnings ratio	366
Product warranty	312
Productive output method	220
Profitability	362
Property dividends	333
Property, plant, and equipment	202
Purchases allowance	143
Purchases discount	144
Purchases return	143

Q

Quick ratio	360
-------------------	-----

R

Raw materials	136
Real account	107
Recognition	66
Recourse obligation	275
Replacement cost	179
Residual value	218
Restricted cash	294
Retail method	184
Retained earnings	17, 328
Retained earnings statement	329
Return on equity (ROE)	363
Return on total assets (ROA)	363
Revenue	15
Revenue expenditures	234
Reversing entry	114

S

Sales allowances	268
Sales discounts	270
Sales returns	268
Salvage value	218
Selling expense	119
Single-step income statement	117
Specific identification method	155
Stakeholder	6
Stated value	324
Statement of changes in stockholders' equity	17
Stock	2
Stock dividends	334
Stock splits	350
Stockholders/Shareholders	2
Stockholders' equity	15, 320
Straight-line method (SL)	222
Sum-of-the-years' digits method (SYD)	227

T

Tangible fixed asset	202
Times interest earned	359

Title.....	190
Total asset turnover.....	364
Total debt ratio	359
Transaction	22
Treasury bills.....	292
Treasury stock	322,323
Trial balance	39

U

Unappropriated retained earnings	330
Unearned revenue	86
Unissued shares	322
Unit of production method	220
Usage method.....	220
Useful life	218

V

Voting right.....	338
-------------------	-----

W

Weighted-average method	156
With recourse.....	274
Without recourse	274
Working capital	360,361
Work-in-process	136
Worksheet.....	125

Financial Accounting I – Text

2023年3月31日 初版初刷発行

編 者 TAC 米国公認会計士講座

発 行 者 多 田 敏 男

発 行 所 TAC 株式会社

〒101-8383

東京都千代田区神田三崎町3-2-18

印刷・製本 株式会社 日興印刷

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

本書は、「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されている著作物です。本書の全部または一部につき、無断で転載、複写されると、著作権等の権利侵害となります。上記のような使い方をされる場合には、あらかじめ小社宛許諾を求めてください。

Printed in Japan

For The USCPA Exam

USCPA

Financial Accounting & Reporting I

(FAR I)

Business Analysis and Reporting

(BAR)

TAC

For The CPA Evolution
Exams Scheduled
From January 1, 2024
Ver.6 テキスト



093-1241-1018-15

 **BRADLEY**
University